

事業所名	和歌山YMCAシードクラブ
------	---------------

公表日 2025年3月1日

利用児童数 64

回收数 52

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	49	1		2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	48	1		3	手厚い配置をしてくれととてもありがたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	45	1		6		安全に配慮していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	49			3	・トイレの改修はよかった。 ・待合の椅子のシミが気になる。	気持ちよく利用していただけるように衛生面にも配慮していきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	49	2		1	変わりがないかや困りごとがないかを気にかけてくれる。	今後もこどもたちの特性に応じた専門的な内容を実施していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	49	2		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	48	1		3		今後様々な活動を取り入れていきたいと思っています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	45	2		5		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	48	2		2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	49	1		2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	31	2	4	15		和歌山YMCAの行事等を通じて地域のこどもと活動する機会がありました。
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	51	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	48	2	1	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	45	1	1	5	・また家族会があれば参加したいです。	随時、相談等あれば実施している状況です。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	50		1	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	47		3	2	いつも相談に乗ってくれている。	引き続き保護者の皆様とこまめな情報共有を行い安心して利用していただけるように取り組んでいきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	49	1	1	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	37	1	2	12	また開催希望です。	今年度は運動プログラムや夏祭り等のイベントで保護者同士の交流やきょうだいの方にも参加してもらいました。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	49		1	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	50	1	1			

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	47	1		4	子どもも通信や行事予定を読むのを楽しみにしている。	今後も月間予定表(シードだより)にて楽しんでもらえるプログラムを作成していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	49	1		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	39	2		11		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	37	1		14		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	42	2		8		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	45	2		5		緊急時対応マニュアルに沿ってこどもの安全第一で対応していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	50	2				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	49	2		1	子どもの気持ちに波があるのでわからない。	今後YMCAに来ることが楽しみのなるように励んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	50	1	1		いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。	今後も安心して通っていただけるようにお子さま保護者の皆様に寄り添った支援を心がけていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		和歌山YMCAシードクラブ				
		公表日2025年 3月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎週会議を開催し職員の建設的な意見を取り入れ業務改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者による外部評価は行っていません。今後は検討しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月1回シードだよりにて情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルに沿って定期的に訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用前には服薬・てんかん等の聞き取りを行った上で利用していただいています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			現在、身体拘束を必要とする児童の利用はありません。

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	和歌山YMCA シードクラブ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日 ～ 2025年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64	(回答者数) 52
○従業者評価実施期間	2024年 12月 10日 ～ 2025年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を実施しています。	スタッフには経験豊富な職員や様々な資格を持っており多職種連携してこどもの支援を実施しています。	今後も多職種連携してこどもの最善の利益を優先し、支援の充実を図っていこうと思います。
2	プログラムが固定されないように工夫されている点について、運動やクラフト、クッキング、外出活動等、様々なプログラムを実施しています。	子どもたちの興味関心や季節に合わせたプログラムや、幅広い年齢層が楽しめるプログラムを取り入れ、5領域を意識しながらバランスよくプログラムを組み立てています。	子どもの特性を理解し、より充実したプログラムを取り入れ、子どもたちが楽しみながら様々なスキルを習得できるように取り組んでいきます。
3	子どもの健康や発達状況について保護者と情報共有や共通理解を持ち、安心して通ってもらうことができています。	子どもたちの様子を伝え合ったり、保護者の相談に乗ったりなど保護者に寄り添い安心して通所してもらえるように心がけています。	保護者との情報共有を密に行い信頼関係を築きながら、安心して利用してもらえるように取り組む。また専門的な知識や技術を活かした保護者支援をより一層強化していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか？という設問に対しての解答でいいえ、わからないという回答がいくつかありました。	和歌山YMCAのイベント等で他のこどもたちと活動する機会はありませんでしたが保護者への周知が足りていなかったと思います。	保護者への周知を今度はより一層強化していこうと思います。
2	父母の会の活動や保護者同士の交流など、保護者きょうだいのプログラムに参加し交流会する機会もあったが、わからない・いいえという回答がいくつかありました。	今年度は運動プログラムや夏祭りイベント等で保護者同士の交流やきょうだいにも参加してもらう機会があったが周知が足りていなかったと思います。	今後は保護者への周知を強化していきます。また家族会開催を希望される方も多いため、来年度6月に開催を予定しています。
3	各種マニュアルや訓練が実施されているかの設問に、わからないという回答がいくつかありました。	今年度はVR防災体験車で火災や地震、津波等の防災について学びました。避難訓練はおたよりで伝え、マニュアル対応については契約時に伝えていますが、周知や説明不足な点があったのかと思います。	契約時や訓練実施の時には保護者への説明をより一層強化していこうと思います。避難訓練等では参加できなかったこどもへの対応も行い事業所全体で防災への意識を高めていきたいと思っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 和歌山YMCAシードクラブ

公表日 2025年 3月 1日

利用児童数 23

回収数 19

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1	1			今後も活動スペースを十分に確保していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1			こどもの様子に合わせて色々なサーキットや活動を取り入れてくれた。	今後もお子さまが楽しんでもらえるようなプログラムを作成していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1		10		YMCA全体の行事を通して地域のこどもと関わる機会を作っています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18			1		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	1		3		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1		4	また保護者会の集いの場所の開催してほしい。	随時相談等あれば実施しています。家族会は今年度6月に実施したいと思いますのでよろしくお願いいたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2		1	些細なことでも日常では発見できなかった面を伝えてくれた。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	2		3	・ 幼い兄弟でも参加できて助かった。 ・ 特に必要性を感じない。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			9		YMCA全体での避難訓練を定期的に行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19				・ すごく楽しんで通っている。 ・ 毎週楽しみにしている。	今後もYMCAに来ることが楽しみになるように励んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				・ 丁寧な子どものかかわりが嬉しいです。子ども喜んで通所しています。 ・ 大変満足しています。2年間でとてもしっかりと成長させてくれ、素敵な先生方と過ごすことができ、子どもにとってかけがえのない時間になりました。また私自身も不安が大きい中、子どものかかわりを学ばせていただき、私自身も成長させていただき感謝しています。 ・ 毎週とても楽しみにしており、親としても嬉しいです。スタッフの方にはいつも丁寧に接していただき親子ともども安心して通っています。 ・ 毎回保育園や日常生活での悩みなど、幅広く相談にのっていただきアドバイスをいただけることに感謝しています。	今後も安心して通っていただけるようにお子さま保護者の皆様に寄り添った支援を心がけていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		和歌山YMCAシードクラブ					公表日		2025年 3月 1日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点					
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○								
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○								
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○								
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○								
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎週会議を開催し職員の建設的な意見を取り入れ業務改善に努めています。						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○								
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○								
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者による外部評価は行っていないが、今後は検討しています。					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○								
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○								
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○								
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○								
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○								
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○								
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○								
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○								
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○								

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルに沿って定期的に訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用前には服薬・てんかん等の聞き取りを行った上で利用していただいています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			現在、身体拘束を必要とする児童の利用はありません。

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	和歌山YMCA シードクラブ			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日		～	2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2024年 12月 10日		～	2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置数は適切であるかについて、個別療育、小集団療育共にこどもの人数に対し配置基準よりも多くの職員連携して関わっています。	少人数制でこどもの個々のニーズや特性に合わせた療育を行えるように配置基準よりも多くの職員が関り支援に取り組んでいます。	こどもの発達や特性を理解しながら職員を配置し、より一層こどもに寄り添った支援を行えるように取り組んでいます。
2	子どもの健康や発達の状況について保護者と情報共有や共通理解を持ち、安心して通ってもらうことができています。	安心して通所してもらえるように、プログラム終了後は保護者の方々にフィードバックする時間を作り、保護者一人一人とこどもの様子を伝え合ったり、相談に乗ったりなど寄り添った支援を心がけています。	保護者との情報共有を密に行い信頼関係を築きながら、安心して利用してもらえるように取り組んでいます。また専門的な知識や技術を活かした保護者支援をより一層強化していきます。
3	こどもが楽しみに通所できるようにこどもに寄り添ったプログラム内容を提供しています。	職員もこどもの気持ちに共感しながら、こどもが楽しい・やりたい、また来たいと思えるようなプログラムを取り入れるように工夫しています。	職員が同じ方向性に向かって支援できるように情報共有や振り返りを行い、個々に合わせたプログラムでこどもが楽しみながら成功体験を積めるように関わって行きたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対しての家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会について、わからないとの回答がいくつかありました。	相談等あれば随時実施していますが、保護者への周知が足りていなかったと思います。	今後は保護者への周知を強化していきます。家族会開催を希望される声もあったので、来年度6月に開催を予定しています。
2	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や地域で他のこどもと活動する機会があるかの設問にわからないの回答がいくつかありました。	和歌山YMCAのイベント等で他のこどもたちと活動する機会はありませんでしたが保護者への周知が足りていなかったと思います。	保護者への周知を今度はより一層強化していこうと思います。
3	各種マニュアルや訓練が実施されているかの設問に、わからないという回答がいくつかありました。	マニュアル対応については契約時に伝えていますが、周知や説明不足な点があったのかと思います。避難訓練は定期的に行っていますが周知が足りていなかったと思います。	契約時や訓練実施の時には保護者への説明をより一層強化していこうと思います。避難訓練等では参加できなかったこどもへの対応も行い事業所全体で防災への意識を高めていきたいと思います。